

はじめに

授業や課外活動、就職活動やアルバイト、一見すると自由な学生生活も、実態はどうでしょう。

早稲田大学の全教職員は、学生の皆さんが充実した学生生活を送れるように頑張っていますが、そのためには、皆さんの生活実態を知らねばなりません。そこで今年度も「学生生活調査」を実施し、結果をこの『2005年度第24回学生生活調査報告書』にまとめました。アンケートにご協力していただいた学生の皆さんに、心よりお礼を申し上げます。

今回、調査対象者としてご協力をお願いした皆さんは、学部学生および大学院学生から無作為抽出した一万人。幸いなことに、この調査の趣旨が十分に理解され、今年度も30%を超える回答率を得ることができました。『学生生活調査報告書』を読めば、現在の早大生の偽らざる姿が浮かび上がってくるはずです。

また今年度の調査には、従来のアンケート項目に加え、自由記述回答欄を設けました。皆さんの生の声を聞くためです。大学の施策、講義内容、カリキュラム、窓口での対応などについて、好意的な声と厳しい指摘を多数寄せていただきました。批判の声を含め、皆さんの意見は貴重です。報告書では代表的な意見を紹介する程度ですが、皆さんの声は真摯に受け止め、関係箇所への働きかけを行いながら改善につなげます。

本報告書は読んで楽しい統計資料になることを目指しました。これは決して楽な作業ではありません。各章の分析と執筆者は、教育・総合科学学術院 松本芳之（1章）、商学学術院 坂野慎哉（2章）、人間科学学術院 嶋田洋徳（3章）、社会科学総合学術院 周藤真也（4章）、理工学術院 永田靖（5章）の各先生です。調査結果と全体の取りまとめには、上述の周藤先生にご協力いただきました。末筆ではありますが、ご執筆・ご協力いただいた先生方に心より感謝いたします。

2005年10月21日

学生部長 岩井方男